

年初に当たり -曇外蒼天-

明けましておめでとうございます、とは言えない大きい天災、事故が年初から起こりました。能登での大地震、津波と羽田空港滑走路での航空機事故であります。亡くなられた方々のご冥福をお祈りし被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

まさに一寸先は見えません。よく座右の銘にされる【曇外蒼天】という言葉があります。前が見えていない雲の中でも一生懸命もがいて進めばやがて真っ青な空が見える、という意味であります。今年は国内外を問わず紛争、災害、それによる経済の疲弊と先の見えない雲の中にいます。世界中の国々がなんとか話あって合意し、真っ青な空を見たいものです。

翻ってわが日本臨床泌尿器科医会の作業部会の昨年末までの半年間の活動を見ますと、保険部会は来年の保険改定に向けての作業を、学術部会は保険情報の専攻医研修用の動画を2編作成、広報部会はホームページとX（ツイッター）で多くの泌尿器科診療情報を発信、勤務医部会は働き方改革についての取り組みを、オフィスウロロジー部会は来年の総会の講演会準備を、全国医会連携部会はWEB会議で各地域医会の情報共有をして少しずつ成果を上げていますが、問題は他の診療科の全国医会と比べると学会会員との比率がまだまだ低くいまだ組織としては暗中模索の雲の中にいることです。少しずつでも前進して会として見通しの明るい真っ青な空を見上げたいと思います。

会員の先生方今年もご支援、ご協力どうぞよろしくお願い申し上げます。

是非とも日本臨床泌尿器科医会のホームページと [X（ツイッター）@jcu2023](#) をご覧ください。

令和6年1月10日

会長 清原久和